

FY2025 4Q

2026年3月期 通期決算説明資料

2026年5月14日

品質向上のトータルサポート企業

バルテス・ホールディングス株式会社
(証券コード：4442)₁

CONTENTS










1.	エグゼクティブサマリ	P.3
2.	通期決算概況	P.9
3.	業績見通し	P.25
4.	生成AIテストツール開発投資	P.27
5.	成長戦略（新中期経営計画）	P.33
6.	ソフトウェアテスト事業環境	P.37
7.	自社の強み	P.41
8.	会社概要	P.48

※ 前期3Q以降及び当期1Qの数値は、企業結合会計の暫定的な会計処理から確定後の内容に変更しているため、当期1Qまでに開示した数値と異なります。

1

エグゼクティブサマリ

エグゼクティブサマリ (前年同期比)

	実績	前年同期比	
売上高	 119.3 億円	+10.6% 	前年同期比 +10.6% の 過去最高売上
営業利益	9.2 億円	▲0.4%	各事業堅調に拡大し 売上総利益率向上 AI投資で販管費増加も、 売上拡大・利益率改善 によって営業利益は 前年並み で着地
親会社株主に 帰属する当期純利益	5.7 億円	▲1.2%	
単価 (ソフトウェアテスト)	 852 千円	+42千円 	単価は前年同期比で 増加
案件数	 7,489 件	+1,846件 	総案件数は順調に 増加 (内、ツール案件数は前年同期比+764件)
稼働エンジニア数 (2026年3月末時点)	 1,342 名	正社員 +29名 	売上拡大 に伴い、 正社員・ビジネスパートナー 共に 増員
		正社員,契約社員,BP 合計 +132名 	

2026年3月期 「生成AIテストツール開発投資」の進捗 サマリー



生成AI開発投資により2つのツールがローンチ 実案件にて利用開始されるなど順調に拡大

※詳細はP27をご確認ください

FY2025 実績累計

当初計画額

対計画 進捗率

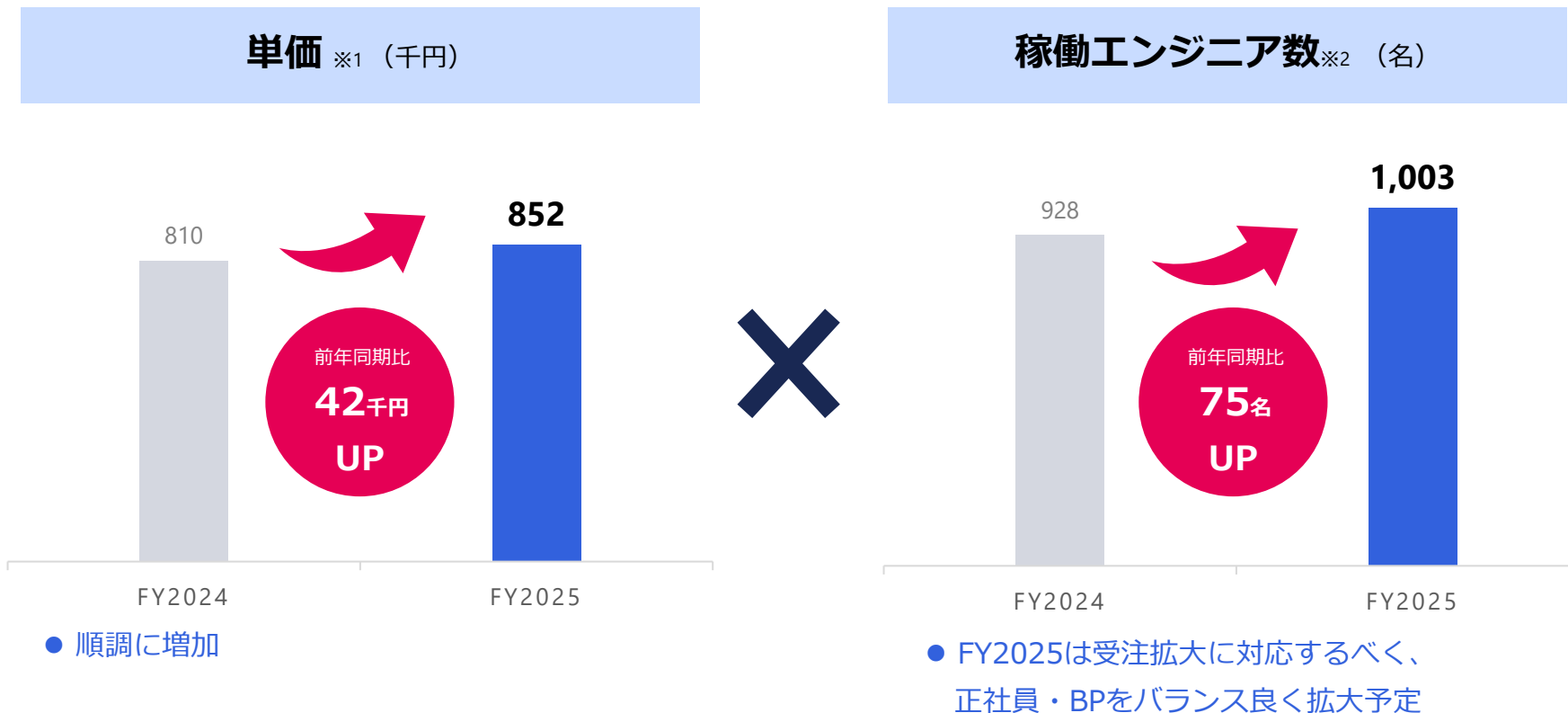
<p>AI投資額（総額）</p>	<p>3.0 億円</p> <p>内PL影響額 2.7 億円</p>	<p>4.0 億円</p>	<p>76.2%</p>	<p>・ 2つのツールがローンチ 案件利用開始</p> <p> <small>根拠が見える、AIテスト設計</small> 生成AIテスト設計ツール 「テストスケープ」 2026年3月正式版運用を開始</p> <p> <small>ドキュメント品質を高める解析AI</small> AI仕様書診断ツール 「クインスペクト」 2025年10月β版リリース</p> <p>・ 4Qで1億円投資と後半投資が加速 当進行期は年4億の投資を見込む</p>
<p>AI投資前営業利益 (営業利益 + AI投資PL影響額)</p>	<p>12.0 億円</p>	<p>10.5 億円</p>	<p>114.6%</p>	<p>AI投資影響を排した営業利益は 前期実績及び当初計画値を上回り オーガニックな成長を遂げている※2</p>
<p>参考 前期FY2024 営業利益</p>	<p>FY2024 実績※1 9.2 億円</p>		<p>対前期比 129.7%</p>	

※1 前期3Q以降及び当期1Qの数値は、企業結合会計の暫定的な会計処理から確定後の内容に変更しているため、当期1Qまでに開示した数値と異なります。

※2 当期後半は開発コストの大半をAI開発へ振り替えており、AI開発コスト自体が前期比で純増しているわけではありません。

そのため、前期営業利益と当期AI投資前営業利益は単純比較できません。

単価、稼働エンジニア数共に順調に増加



※1 単価（月間）＝ 国内ソフトウェアテストセグメントの売上高 ÷ 国内エンジニア数の延べ人数（正社員+契約社員+ビジネスパートナー）

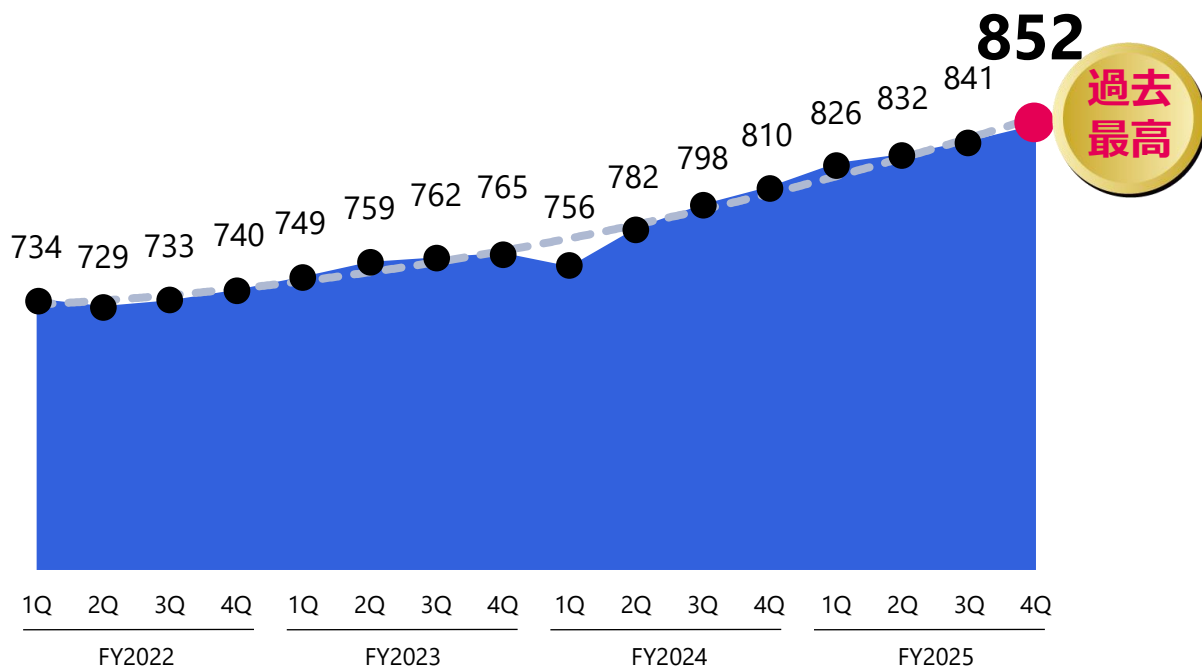
※2 本項記載の数値に関しては、国内ソフトウェアテストのみの集計となるため、本資料のエグゼクティブサマリー記載の「稼働人員数」の数値とは異なります。

単価の推移（ソフトウェアテスト）、稼働エンジニア数の推移（連結）

単価852千円、エンジニア数1,342名、更なる成長へ向け稼働エンジニア数を順調に拡大

エンジニア1人当たりの売上高（月間）※（ソフトウェアテスト）

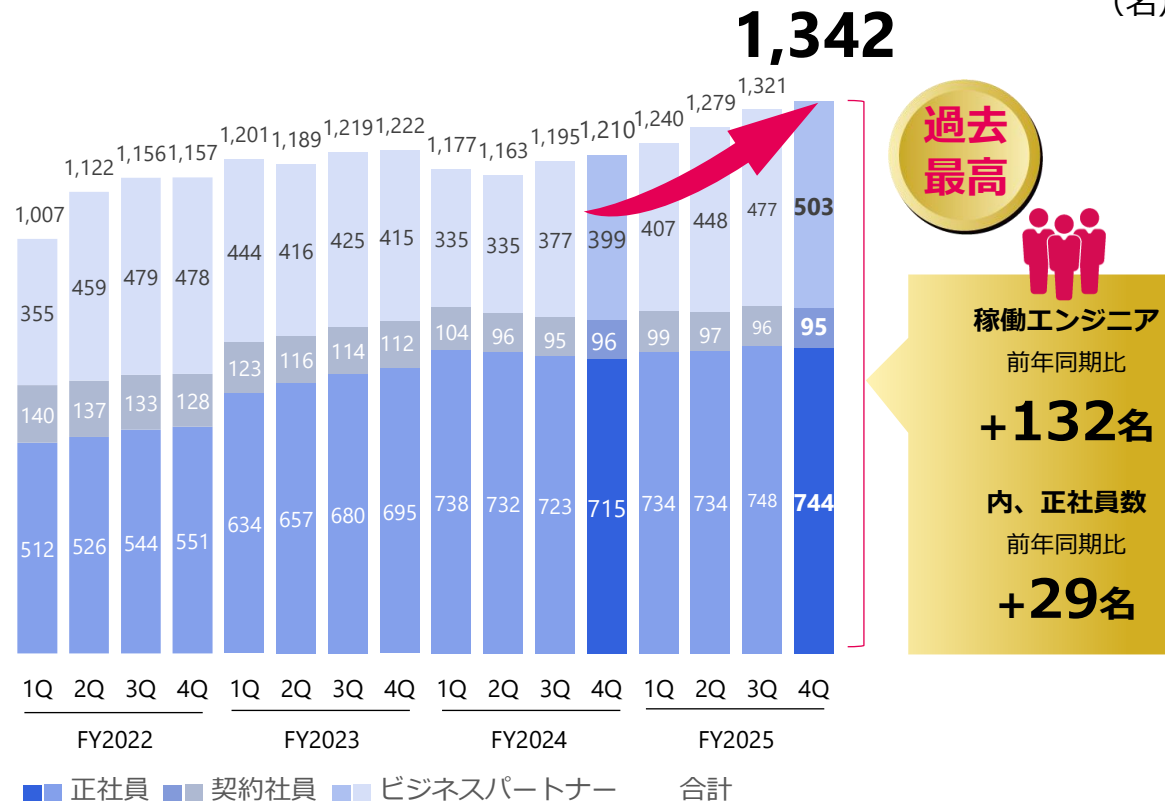
（千円）



過去最高

稼働エンジニア数（連結）

（名）



過去最高

稼働エンジニア
前年同期比
+132名
内、正社員数
前年同期比
+29名

※ エンジニア1人当たりの売上高（月間） =
ソフトウェアテストの売上高 ÷ エンジニア数の延べ人数（正社員+契約社員+ビジネスパートナー）



生成AIテスト設計ツール「TestScape」の正式リリース

- ・テスト設計業務の生産性と品質向上を実現する生成 AI テスト設計ツールを**2026年3月に提供開始**
- ・**シナリオテスト支援機能**を**2026年5月に実装**



7月1日に組織再編を実施予定、「バルテス・ソリューションズ&AI株式会社」が誕生

- ・グループ各社の役割分担と連携を通じ、**効率性・競争力を高め、企業価値向上**を目的に実施予定



バルテス・イノベーションズ株式会社にて「AI ソリューション」サービスを提供開始

- ・複数のデータを横断的に扱うマルチモーダル AI を業務フローに組み込むことで、自動化や効率化を実現する「**AI ソリューション**」サービスを**2026年3月に提供開始**



J R東日本情報システムより「JEISコアパートナー」に認定

- ・これまでの品質向上支援の実績や技術力等が評価され認定
なお、同認定企業の中で、ソフトウェアテスト専門企業としては**バルテスが初**



通期決算概況

営業体制整備の効果により、案件数は順調に増加、売上高は過去最高
 AI投資の影響で販管費は増加するも、売上高増・利益率改善により営業利益は前年並み

	FY2024 累計		FY2025 累計			
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	前年増減 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	10,795	100.0	11,939	100.0	+1,144	+10.6
営業利益	927	8.6	923	7.7	▲3	▲0.4
EBITDA ※	1,182	11.0	1,210	10.1	+28	+2.4
経常利益	930	8.6	921	7.7	▲9	▲1.0
親会社株主に 帰属する当期純利益	580	5.4	573	4.8	▲7	▲1.2
1株当たり当期純利益 (円)	28.81	-	28.91	-	-	-

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費で算出

売上高、営業利益 四半期推移 (会計期間)

売上高

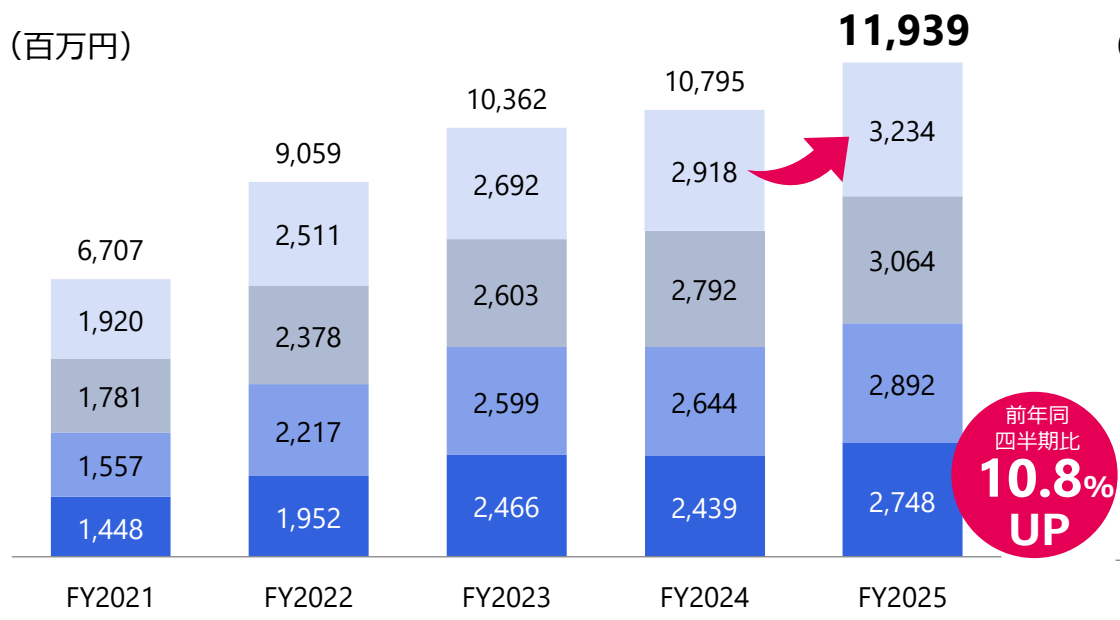
営業体制整備の効果により案件数は順調に増加、通期売上高としては過去最高

営業利益

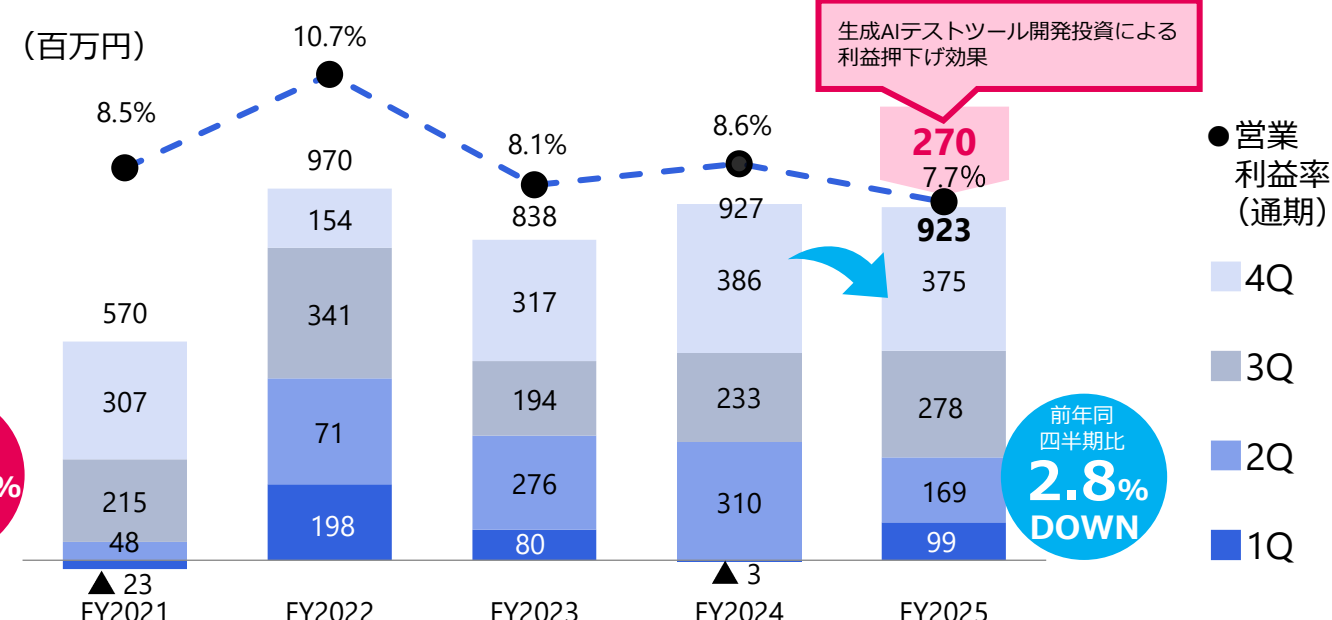
各事業堅調に事業拡大し売上総利益率は前年同期比で向上

AI投資の影響で販管費増加するも売上高増・利益率改善により営業利益は前年並み

売上高



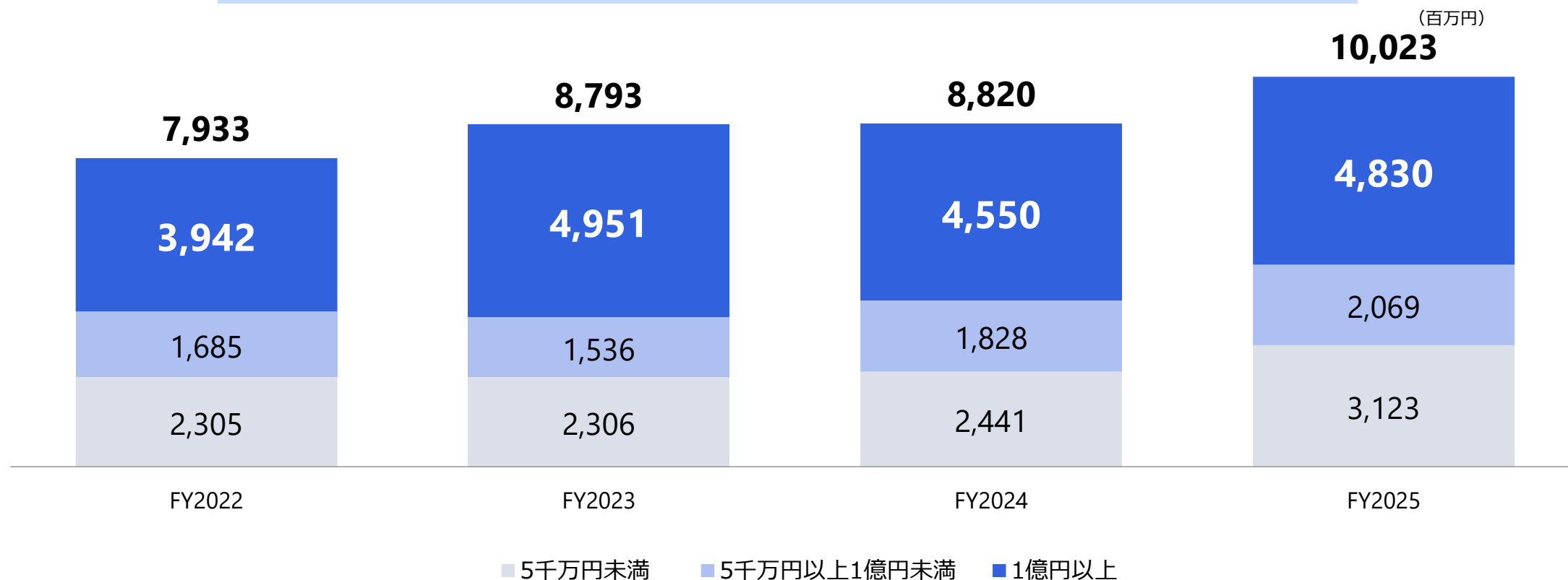
営業利益



※ 前期3Q以降及び当期1Qの数値は、企業結合会計の暫定的な会計処理から確定後の内容に変更しているため、当期1Qまでに開示した数値と異なります。

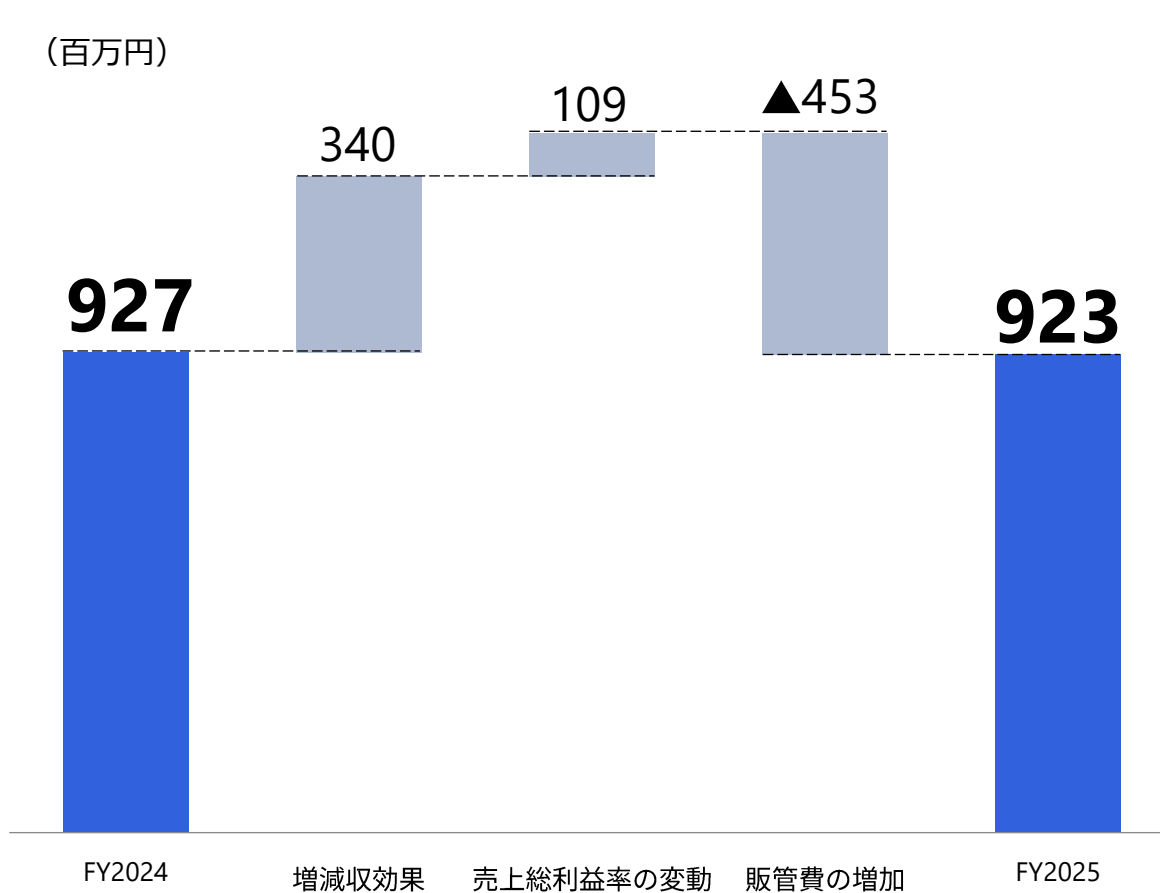
営業体制整備の効果により、大・中・小規模案件とも全方位的に伸長

取引先あたり売上規模別の売上高推移
(バルテス単体)



※セグメント変更により、セグメント変更後の集計方法での過年度比較が難しくなった為、バルテス単体での数値を記載しております。

生成AI開発投資等で販管費増加するも売上高増・利益率改善により営業利益は前年並で着地



増減収効果 +340	ソフトウェアテスト +326 開発 ▲8 セキュリティ +22
売上総利益率の変動 +109	ソフトウェアテスト事業においては、本業の利益率好調も、ツールのリリースに伴う償却開始や東京本社増床等、労務コスト以外の原価が増加。一方開発事業はタビュラ社グループインの影響もあり大幅改善
販管費の変動 ▲453	ソフトウェアテスト ▲254 開発 +311 セキュリティ +51
	変動要因のうち最大のものは生成AI開発投資に伴う研究開発費増加 ▲159 他、株主優待制度開始による費用増▲78 支払手数料の増加 ▲72 等の影響 (詳細は次頁に記載)

生成AIテストツール開発に関する研究開発費及びその他販管費が大きく増加し販管費453百万円増

	FY2024 4Q単 (百万円)	FY2025 4Q単 (百万円)	FY2024 4Q累計 (百万円)	FY2025 累計		
				(百万円)	前年増減 (百万円)	前年同期比 (%)
販管費	551	659	2,283	2,736	+453	+19.9
人件費	245	247	964	973	+9	+1.0
採用費	72	51	285	280	▲5	▲2.0
研究開発費	9	51	58	217	+159	+273.6
その他	223	308	974	1,265	+291	+29.9

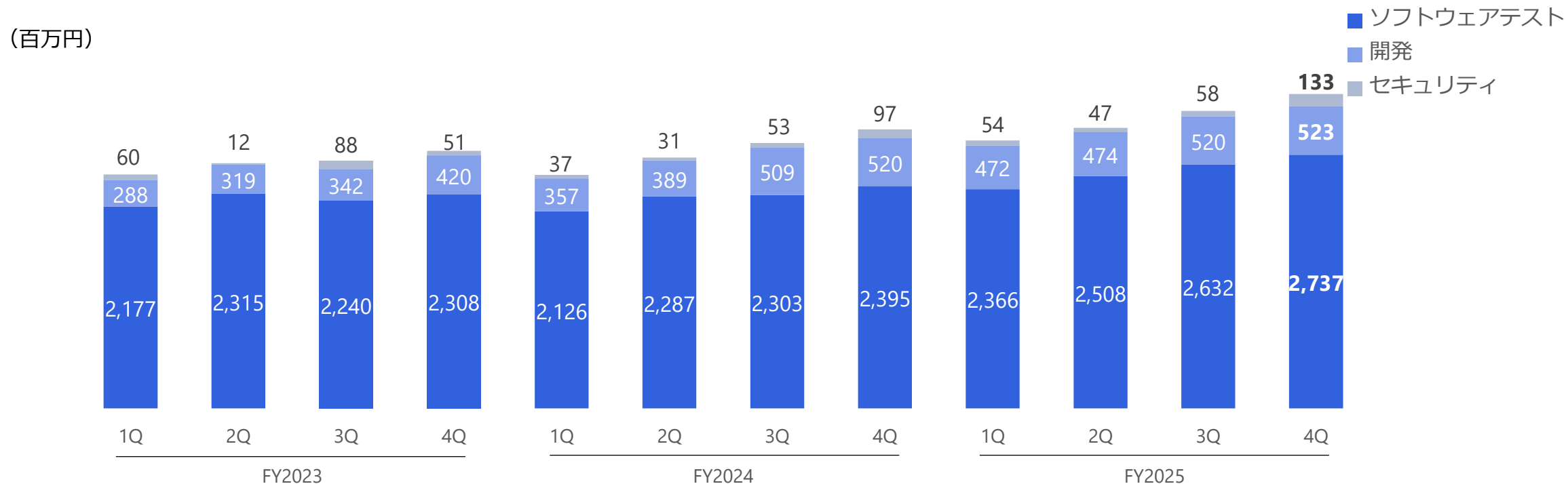
人件費	+9	組織拡大に伴う増加
採用費※	▲5	計画通り
研究開発費	+159	生成AI開発投資を含め 計画通りに進捗
その他	+291	株主優待費 ▲78 支払手数料 ▲72※ ↳派遣社員費用 ▲41 ↳WEBサイト環境構築費用 ▲28 タビユラのれん償却費 ▲41

※各販管費にはP31記載のAI関連投資額を含みます。

事業別セグメント実績

	FY2024 累計		実績 (百万円)	FY2025 累計		
	実績 (百万円)	利益率 (%)		利益率 (%)	前年同期比 (%) (pt)	
売上高	10,795		11,939		+10.6	
ソフトウェアテスト	9,112		10,245		+12.4	
開発	1,777		1,990		+12.0	
セキュリティ	219		294		+34.1	
連結消去	▲314		▲590			
営業利益 (利益率)	927	(8.6)	923	(7.7)	▲0.4	(▲0.9)
ソフトウェアテスト	1,071	(11.8)	864	(8.4)	▲19.3	(▲3.4)
開発	▲75	(▲4.3)	91	(4.6)	-	(+8.9)
セキュリティ	11	(5.3)	38	(13.1)	230.6	(+7.8)
連結消去	▲79		▲71			

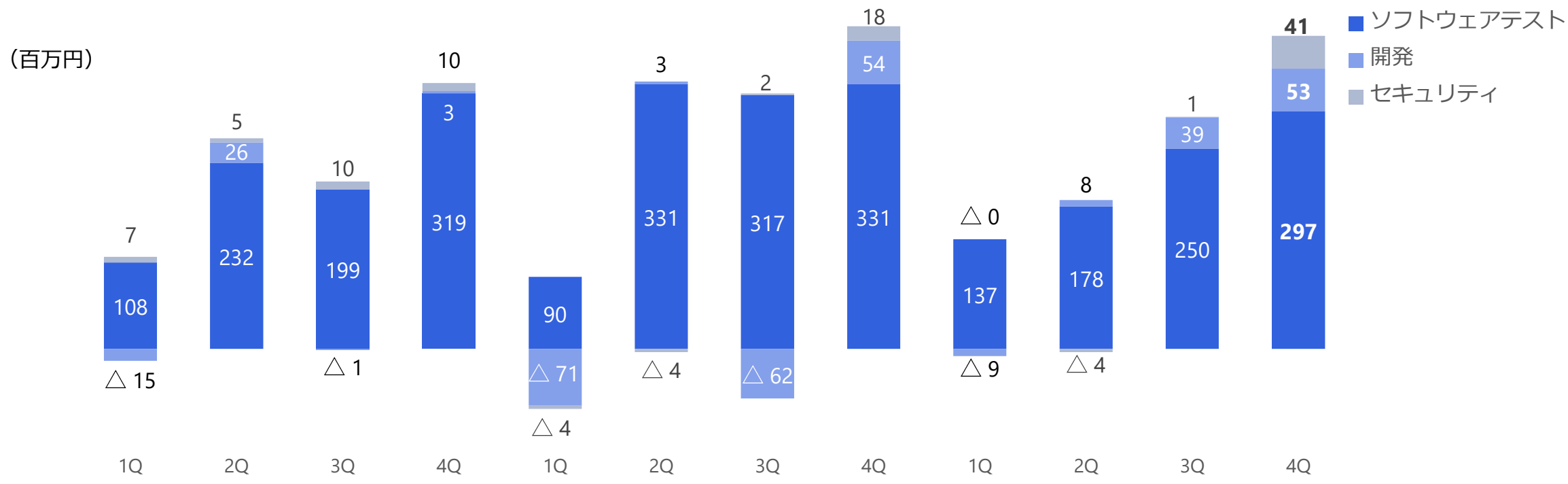
各セグメント 前年同期に比べて順調に売上増加、連結4Q売上高は過去最高



連結4Q 売上高	10,362百万円	10,795百万円	11,939百万円
-------------	-----------	-----------	-----------

※ 株式会社シンフォーをFY2023 1Qより、フェアネスコンサルティング株式会社(現バルテス・イノベーションズ株式会社に吸収合併)をFY2023 3Qより、
 タビュラ株式会社をFY2024 3Qより新規連結しております。
 ※ 各セグメント売上の合計からセグメント間取引消去を調整するため、3セグメントの合計と連結売上高は異なります。

AI投資によりソフトウェアテストが減少も、開発・セキュリティが好調に推移



FY2023

FY2024

FY2025

連結4Q 営業利益	838百万円	927百万円	923 百万円
--------------	--------	--------	----------------

※ 株式会社シンフォーをFY2023 1Qより、フェアネスコンサルティング株式会社(現バルテス・イノベーションズ株式会社に吸収合併)をFY2023 3Qより、
タビュラ株式会社をFY2024 3Qより新規連結しております。

※ 各セグメント営業利益の合計からセグメント間取引消去を調整するため、3セグメントの合計と連結営業利益は異なります。

※ 前期3Q以降及び当期1Qの数値は、企業結合会計の暫定的な会計処理から確定後の内容に変更しているため、当期1Qまでに開示した数値と異なります。

	FY2024 累計		FY2025 累計			
	実績 (百万円)	売上高比 (%)	実績 (百万円)	売上高比 (%)	前年増減 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	10,795	100.0	11,939	100.0	+1,144	+10.6
売上原価	7,584	70.3	8,279	69.3	+694	+9.2
労務費	4,675	43.3	4,976	41.7	+300	+6.4
外注費	2,446	22.7	2,849	23.9	+403	+16.5
その他	462	4.3	453	3.8	▲9	▲2.0
販管費	2,283	21.1	2,736	22.9	+453	+19.9
人件費	964	8.9	973	8.2	+9	+1.0
採用費	285	2.6	280	2.3	▲5	▲2.0
研究開発費	58	0.5	217	1.8	+159	+273.6
その他	974	9.0	1,265	10.6	+291	+29.9

バランスシートの状況

資産の部	FY2024	FY2025	
	(百万円)	(百万円)	対前期末 (百万円)
現金及び預金	1,937	2,356	+419
受取手形、売掛金 及び契約資産	1,697	1,618	▲78
流動資産合計	3,988	4,323	+335
有形固定資産	285	357	+71
のれん	1,348	1,166	▲182
ソフト+ソフト仮	193	201	+7
無形固定資産	1,542	1,367	▲174
投資その他の資産	683	676	▲6
固定資産合計	2,511	2,401	▲109
資産合計	6,499	6,725	+225

負債の部	FY2024	FY2025	
	(百万円)	(百万円)	対前期末 (百万円)
買掛金	256	316	+60
短期有利子負債	921	486	▲434
未払金	545	624	+79
流動負債合計	2,560	2,065	▲495
長期有利子負債	684	1,029	+345
固定負債合計	685	1,032	+346
負債合計	3,246	3,097	▲148
純資産の部			
株主資本合計	3,241	3,623	+381
純資産合計	3,253	3,627	+374
負債純資産合計	6,499	6,725	+225

テスト設計業務をAIで標準化・効率化

生成AIを活用したテスト設計支援ツール「**TestScape（テストスケープ）**」の正式運用を開始しました。テスト設計の属人化を抑制し、組織的かつ再現性のあるテスト設計プロセスの実現を目指します。



■ 「TestScape」とは

TestScapeは、AIが仕様書や関連ドキュメントを読み取り、**テスト設計に必要な観点やテストケースを自動生成するツール**です。**中間生成物（ドキュメント）**を生成できるため、テスト設計の過程や根拠を可視化しながら進めることが可能です。

■ 主な効果



設計工数削減

AI自動生成でテスト設計工数を大幅に削減し迅速化を実現



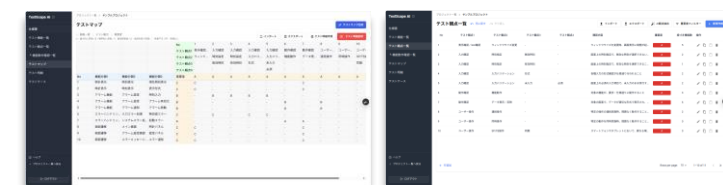
品質の安定化

AI支援で品質を安定化し属人性を抑制し継続的に運用



手戻り抑制

設計時の抜け漏れ防止で後工程の手戻りを削減を実現



シナリオテストにも対応可能に

TestScapeは、5/11からシナリオテストにおけるテスト設計の対応も可能になりました。これにより、当社のテスト設計の大多数の案件で**TestScape**の利用が可能となり、従来に比べ大幅な**品質向上・効率化**が期待できます。

※なお、現時点におきまして本ツールは社内利用・案件利用を前提としており、単独での外部販売は予定しておりません。

7月1日を効力発生日とする子会社組織再編について

経営効率化を目的に7月1日組織再編を実施予定、「バルテス・ソリューションズ&AI株式会社」が誕生



業務フローにAIを組み込み、コア業務の自動化・効率化を実現

「AIソリューション」サービスは、企業の業務課題を起点に、テキスト・音声・画像・数値など複数データを扱うAIを**業務フロー全体に組み込むことで、自動化・効率化を実現**します。PoCにとどまらず、例外処理・承認・ログ管理まで含めた**実運用を前提としたAI活用を支援**します。

■ 主な特長

業務フローに組み込むAI導入



企業の業務課題を起点にAIの適用範囲を設計。AIの領域と人の領域を明確にすることで、**業務フロー全体の最適化を実現**。

マルチモーダルAIによる業務自動化



テキスト・音声・画像・数値を組み合わせたAI処理により、**業務の理解・判断を可能にし業務生産性向上を実現**。

導入から運用までを一貫支援



バルテス・イノベーションズのナレッジを組み合わせ、AI環境の構築から既存システム連携など、**運用を見据えた導入を支援**。



VALTES INNOVATIONS

主な活用分野



医療・ヘルスケア分野



施設管理・オフィス管理・セキュリティ分野



マーケティング分野



IT・システム運用分野

ICTシステムの品質分野における重要なパートナー企業として認定されました

JR東日本グループのICT事業を担うJ R東日本情報システム（JEIS）において、当社は品質向上支援の分野における**実績や技術力、取り組み姿勢が評価**され、「JEISコアパートナー」に認定されました。

本認定は、JEISが中長期的な視点で協働し、品質向上や技術力強化をともに推進していく企業を対象としています。なお、本認定において**ソフトウェアテスト専門企業としては当社が初**となります。



JEIS 株式会社 JR東日本情報システム

株式会社 J R東日本情報システム

J R東日本情報システムは、JR東日本グループのIT中核会社として、鉄道の安全・安定輸送を支える重要な役割を担っています。列車運行管理、駅業務、指定席予約や決済などの社会インフラを支える情報システムについて、企画・設計から開発、運用・保守までを一貫して担当し、高い信頼性と品質で鉄道サービスを支えています。



株主優待制度[※]

年間15,000円分の
QUOカードを進呈

- より多くの株主の皆様へ生成AIテストツール開発投資にご理解をいただいたうえで、中長期的に株式を保有していただくことを目的に前年度より「株主優待制度」を導入しております。



配当金

FY2025
普通配当
1株当たり 4円

FY2026
普通配当
1株当たり 4円

- 今後も順調な利益成長が見込めることから、株主の皆様への安定・継続的な還元のため、普通配当を実施予定。

※毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に記載または記録され、継続保有の要件として、同一の株主番号で2回連続（3月末及び9月末）で株主名簿に500株（5単元）以上の保有が記載または記録されている株主様を対象に、半期に一度7500円分ずつ進呈いたします。詳細につきましては、2025年2月14日開示の「株主優待制度の導入に関するお知らせ」をご確認ください。

3

業績見通し

新中期経営計画に基づき生成AIテストツール開発へ4億円以上の投資を見込む 新中期経営計画の2期目目標を通期目標として据え置く

投資対象

① 生成AIテストツール開発

② 生成AIテストツールの
マーケティング強化

③ AI人材を含むハイクラス
人材の採用強化

	FY2025 実績		FY2026 予想			
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	対FY2025 増減 (百万円)	対FY2025 (%)
売上高	11,939	100.0	14,160	100.0	+2,220	+18.6
営業利益	923	7.7	970	6.9	+46	+5.0
(参考) AI投資前営業利益	1,203	10.1	1,370	9.7	+166	+13.8
EBITDA ※	1,210	10.1	1,270	9.0	+59	+4.9
経常利益	921	7.7	950	6.7	+28	+3.1
親会社株主に 帰属する当期純利益	573	4.8	610	4.3	+36	+6.4
1株当たり 当期純利益 (円)	28.91	—	30.76	—	—	—

※ EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費（PPA含む）で算出

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

4

生成AIテストツール開発投資

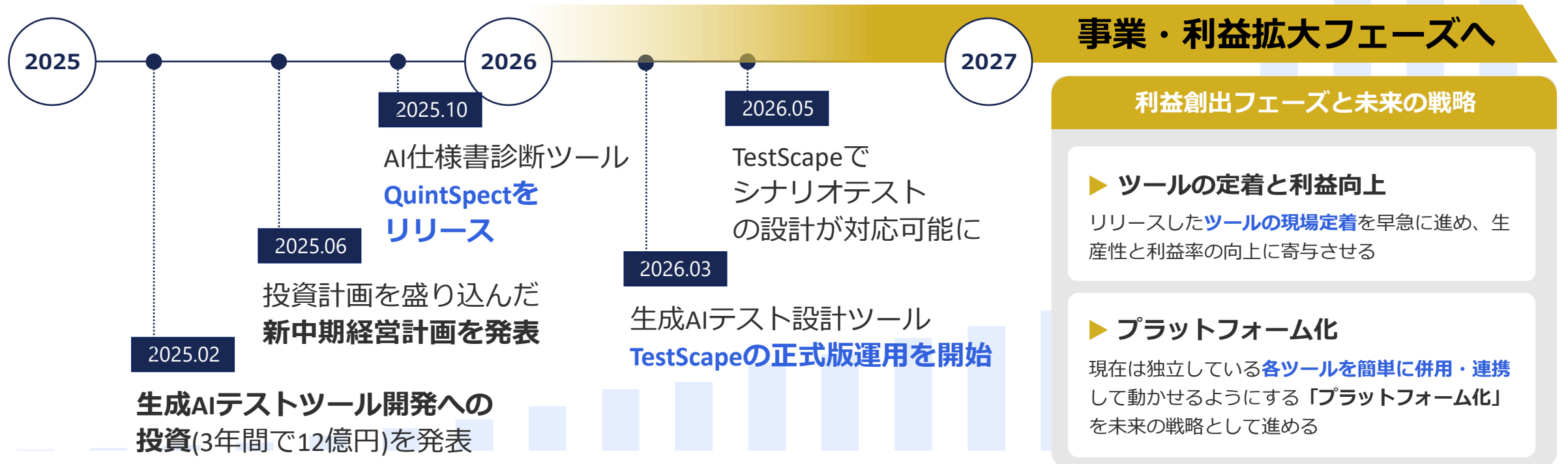
「生成AIテストツール開発投資」計画の経緯 振り返りと今後

投資の経緯

生成AIの拡大に伴う機会とリスクに対応するため、当社は「生成AIテスト設計ツール」の開発を推進
2025年には開発加速に向けた積極投資方針へ転換し、「新中期経営計画」で年4億円×3か年・計12億円の投資計画を策定

振り返り/今後

新中期経営計画初年度の2026年3月期は、投資・開発が順調に進捗し、2つのツールをローンチ。顧客案件での利用も拡大
今後は現場定着と販売強化による利益創出を進め、将来的にはプラットフォーム化による事業拡大を目指す



開発中の生成AIテストツール

ツール
01



生成AIテスト設計ツール 「TestScape（テストスケープ）」

▶これまで培ってきたテスト設計のナレッジを学習させた生成AIと、独自構築したテスト体系「QUINTEE®」を基盤とした**生成AIテスト設計ツール**（社内のみ・非外販）。

仕様書や関連ドキュメントを読み込むことで、テストの実行内容を自動生成する。併せてQUINTEE®に準拠した観点整理（テストで確認すべき項目）や条件マトリクス（条件の整理）といった中間生成物（ドキュメント）を生成し、**テスト設計の過程や根拠を可視化できる点が他社ツールにはない強み**。

ツール
02



ドキュメント解析AIツール 「QuintSpect（クインスペクト）」

▶正確性・理解性・視覚性・深層性・信頼性の5つの観点からドキュメントを分析し、**スコアリングと改善提案を自動でおこなう解析AIツール**（社内・外販予定）。

人の専門知見により実施してきたレビューに、**長年培ってきたインスペクションノウハウを基盤とするAI技術を加える**ことで、より高精度かつ効率的に品質診断を実現する。

開発進捗状況 2026年5月時点

- ▶2025年3月 β版ローンチ
社内でのテスト運用・改善実施
- ▶2026年3月25日
社内正式運用開始
- ▶2026年5月11日
シナリオテスト機能追加

業務やユーザー操作の流れに沿って一連の処理を検証するシナリオテストの設計を支援（詳細は20Pをご覧ください）

- ▶2025年10月 β版ローンチ
社内でのテスト運用・改善実施
- ▶2026年1月～
申込企業にてテスト利用開始
- ▶2026年3月～
利用企業からのフィードバックより改良開発を実施中
早期正式ローンチを目指す

「生成AIテストツール開発投資」2026年3月期振り返り（投資額）

生成AI関連投資は**3.0**億円、AI投資前営業利益は**前期実績及び当初計画値を大幅に上回り**

主業であるソフトウェアテスト事業を中心に**オーガニックな成長を遂げている**

FY2025 実績累計

当初計画額

対計画 進捗率

AI投資額（総額）	3.0 億円	4.0 億円	76.2%	上半期はショートも下半期は計画通り推移（4Q単体で1億円投資実施）
AI投資額 PL影響額	2.7 億円	-	-	一部資産計上した影響で、AI投資によるPLインパクトは2.7億円
営業利益	9.2 億円	6.5 億円	142.1%	当初計画値を 大きく上回った
AI投資前営業利益 (営業利益 + AI投資PL影響額)	12.0 億円	10.5 億円	114.6%	AI投資影響を排した営業利益は 前期実績及び当初計画値を上回り
参考 前期FY2024 営業利益	FY2024 実績※1 9.2 億円		対前期比 129.7%	オーガニックな成長を遂げている ※2

※1 前期3Q以降及び当期1Qの数値は、企業結合会計の暫定的な会計処理から確定後の内容に変更しているため、当期1Qまでに開示した数値と異なります。

※2 当期後半は開発コストの大半をAI開発へ振り替えており、AI開発コスト自体が前期比で純増しているわけではありません。

そのため、前期営業利益と当期AI投資前営業利益は単純比較できません。

「生成AIテストツール開発投資」 2026年3月期振り返り（投資額の内訳）

「生成AIテストツール開発への積極投資方針」に基づいた以下投資対象への年4億円投資計画
当期の実績は約3.0億円の投資となった（営業利益への影響は2.7億円）

実施計画

1 生成AIテストツール開発

2 生成AIテストツールのマーケティング強化

3 AI人材を含むハイクラス人材の採用強化

年間投資計画

400百万円

通期実績

(百万円)

1 生成AIテストツール開発	PL影響 研究開発費	213
	BS影響 ソフトウェア仮勘定で資産計上	23
	小計	236
2 生成AIテストツールのマーケティング強化		16
3 AI人材を含むハイクラス人材の採用・強化 (教育・社外AIツール利用含む)	PL影響 人材の採用・強化 PLコスト	49
	BS影響 人材の採用・強化 固定資産等	2
	小計	52
通期 AI関連投資額 (BS含む)		304
投資進捗率 (通期実績/計画値 年4億円)		76.2%
同投資額の内 PLへのインパクト		279



生成AIテストツール開発における当社優位性

優位性
01

▶ **自社開発のテストツール群によりテスト工程全般を網羅（業界唯一）**
テスト設計～実行まですべての工程でツールを自社開発、近い将来生成AI連携が可能
当社は既にテスト自動化ツール「T-DASH」をはじめとしたテストツールを自社開発しており、これらのツールに生成AI機能を拡大することで、全てのテスト工程を自動化することが可能です。現時点で、テスト関連ツール群を自社開発しているテスト会社は国内では当社のみであり、国内テスト市場において、大きな優位性を有していると自負しております。

優位性
02

▶ **生成AIテスト設計ツール「TestScape」を先行実装**
2025年3月に生成AIテスト設計ツールのプロトタイプ版を実装済
当社は従前より生成AIテスト設計ツールの開発をすすめ、2025年2月時点で高い精度に達したことから、同3月に社内実装を開始しております。今後は実務領域での同ツール利用を促進することで、生成AI機能の強化を進めてまいります。

優位性
03

▶ **ソフトウェアテスト専門事業者として20年にわたる実績**
生成AIを利用した開発に必要な専門性の高い情報を大量に保有
当社は年間3000件を超えるテスト設計情報を過去20年間にわたり蓄積しており、「専門性の高い情報を大量に保有」しているため、生成AIの活用に適した状況にあります。



生成AIと描く当社の未来

技術的
未来

ソフトウェアテストの全工程の自動化

当社テスト設計からテスト実施まで、すべての工程において生成AI機能を自社ツールに実装し、各ツールの連携をすすめることで、ソフトウェアテストのすべての工程を自社開発ツールで全自動化することを目指します。

人的
資本

テストエンジニアからAI-テストデザインコンサルタントへの成長

当社のテストエンジニアは生成AIテスト設計ツール「TestScape」を始めとした当社開発テストツールとそのAI連携機能の習熟度を高めることで、顧客の開発案件に対し、生成AIテストツールによるテスト自動化の設計提案とその実行を伴走できる戦略的ディレクター「AI-テストデザインコンサルタント」への成長を目指します。



成長戦略（新中期経営計画）

生成AIテストツール開発への積極投資方針を従前の中期経営計画に反映したローリングプラン

▶ 新中期経営計画で内容を更新

中計Vision

ソフトウェアテスト市場の社会的価値を高めるバリューアッププラットフォームへ

▶ 生成AIテストツール開発投資によって最大事業のソフトウェアテスト事業を「労働集約型ビジネス」から「人に依存しないビジネス化」

Visionコンセプト1.2

コンセプト① バルテス品質を業界へ波及させるビジネスモデルの構築

▶ ソフトウェアテスト業界の社会的価値向上で更なる市場拡大を誘引

コンセプト② 生成AIテストツール開発への積極投資によって

▲コンセプト更新

人に依存しないビジネスモデルの強化・拡大

▶ 人に依存しない事業比率向上でグループの生産性を向上

コンセプトに基づく5つの基本戦略

基本戦略1：ソフトウェアテスト戦略

◀ 生成AIテストツール投資で戦略更新

◀ ボトルネック解消施策継続

基本戦略2：ツール戦略

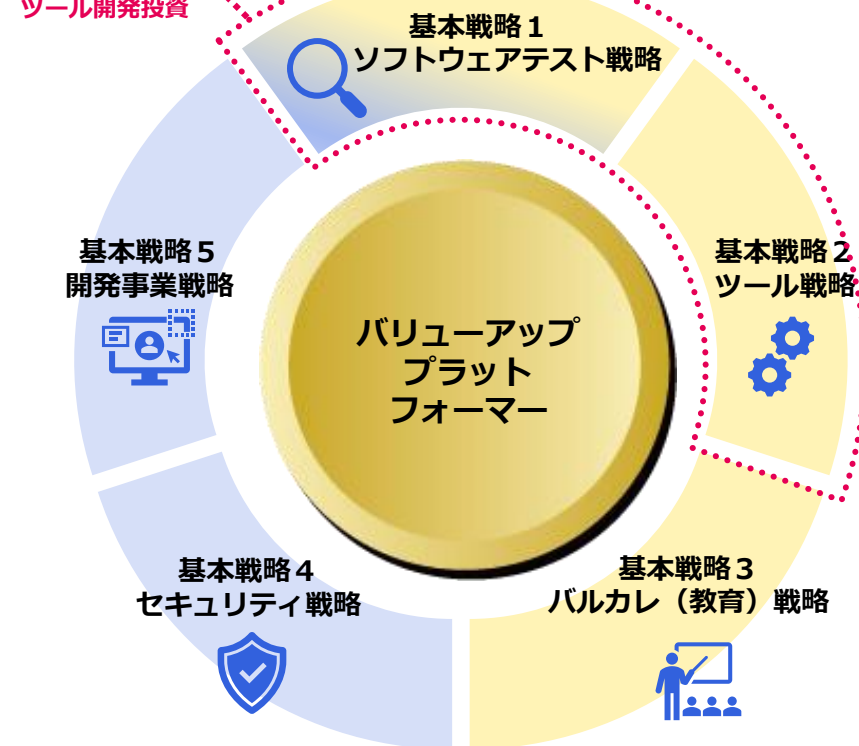
◀ 生成AIテストツール投資で戦略更新

基本戦略3：バルカレ（教育）戦略

基本戦略4：セキュリティ戦略

基本戦略5：開発事業戦略

生成AIテスト
ツール開発投資



● 人に依存するビジネスモデル

● 人に依存しないビジネスモデル

▶ 新中期経営計画で内容を更新

新中期経営計画（3か年）

■ 生成AIテストツール投資（3か年）

生成AIテストツール開発投資
各年4億円を目安

3か年計 **12** 億円

■ BS戦略投資（3か年）

主にM&A投資
事業所投資

3か年計 **25** 億円

■ 還元施策

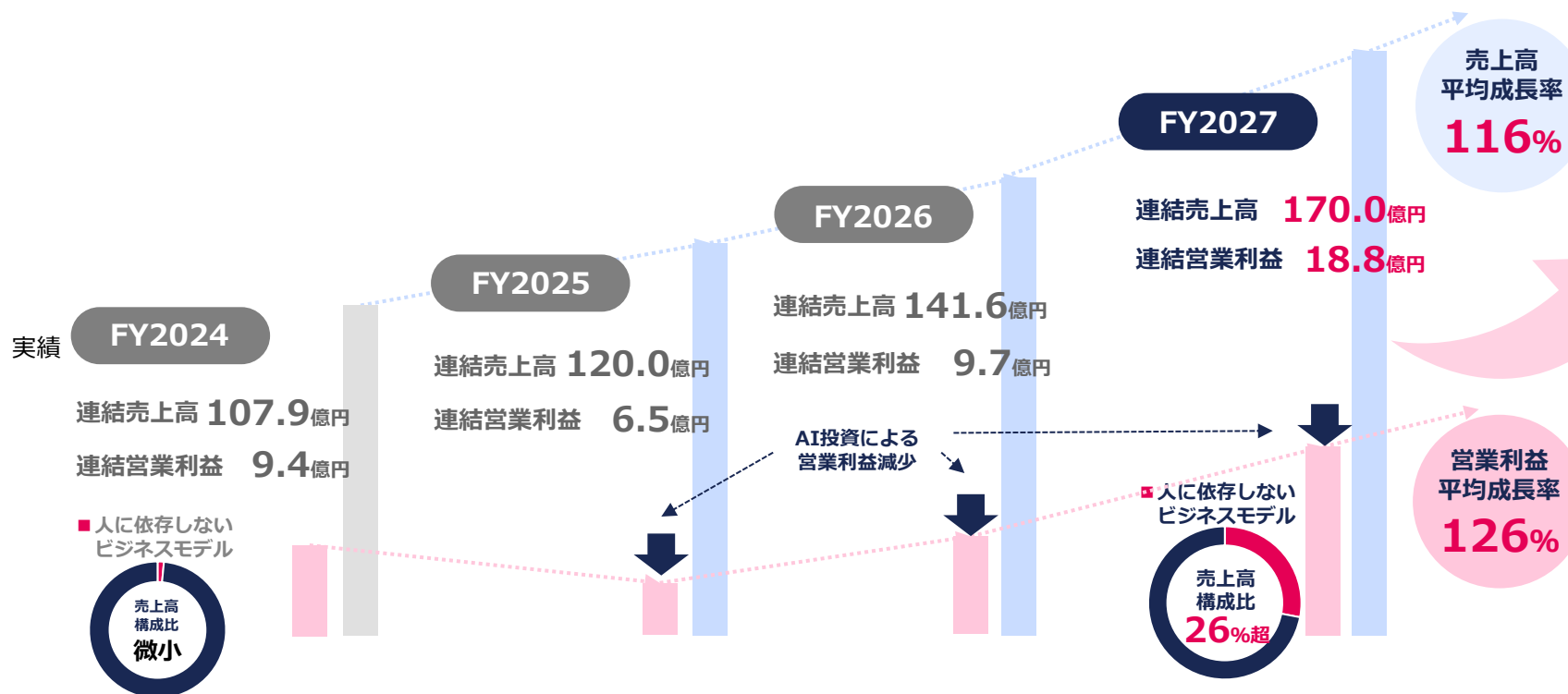
投資優先で成長によるキャピタルゲインで還元

■ 配当

3か年計 **2.4** 億円

■ AI開発応援・株主優待

3か年計 **2.4** 億円



10年先のVISION

バリューアッププラットフォーム

バルテス品質を業界へ波及

■ 人に依存しない
ビジネスモデル

売上高構成比

80%超

売上高
平均成長率

116%

営業利益
平均成長率

126%

■ 人に依存しない
ビジネスモデル

売上高
構成比

26%超

重点施策「生成AIテストツール開発投資戦略」の骨子

▶ 新中期経営計画で新設

現状事業

ソフトウェアテスト事業の現状

▶ 現状の事業の在り方

グループ売上の85%を占める主要事業であるが、テストの設計及びテストの実施双方を人力で実施

人に依存したビジネス

▶ 人的資本

テストの設計から実施までの専門知見※をもつ人材
(※当社テスト進行基準QUINTEE®)

テストエンジニア

課題

IT人材の採用難（人件費・採用費の高騰）によってソフトウェアテスト事業の成長が阻害

生成AIテストツール開発投資戦略

生成AIテストツール開発スピードの強化のため、ツール開発費用（採用費・労務費・外注費）及びマーケティング費用等に

3か年で
12億円
を投資

最大事業のソフトウェアテスト事業を人に依存しないビジネスへ構造変換

現状技術

現状の技術面の強み

▶ 生成AIテスト設計ツール「TestScape」を先行実装

2025年3月に生成AIテスト設計ツールのプロトタイプ版を実装済

▶ 自社開発テストツール群でテスト工程全般をフルカバー

テスト設計～実行まですべての工程でツールを自社開発（業界唯一）
自社開発ツールのみで生成AI連携が可能

生成AIツール習熟による、エンジニアの技能向上

自社開発のすべてのツールに生成AI技術を拡張

ソフトウェアテスト事業の目指す未来

▶ 目指す事業の在り方

生成AIテストツールによるテスト全工程の「自動化」と、AI-テストデザインコンサルタントによる自動化設計・伴走

人に依存しないビジネス

▶ 進化した人的資本

当社の生成AIテストツール類を使いこなし、生成AIテストツールによるテスト自動化の設計提案とその実行を伴走できる戦略的ディレクター

**AI-テストデザイン
コンサルタント**

目標技術

生成AIテストツール開発投資の目標技術

▶ ソフトウェアテストの全工程を自動化

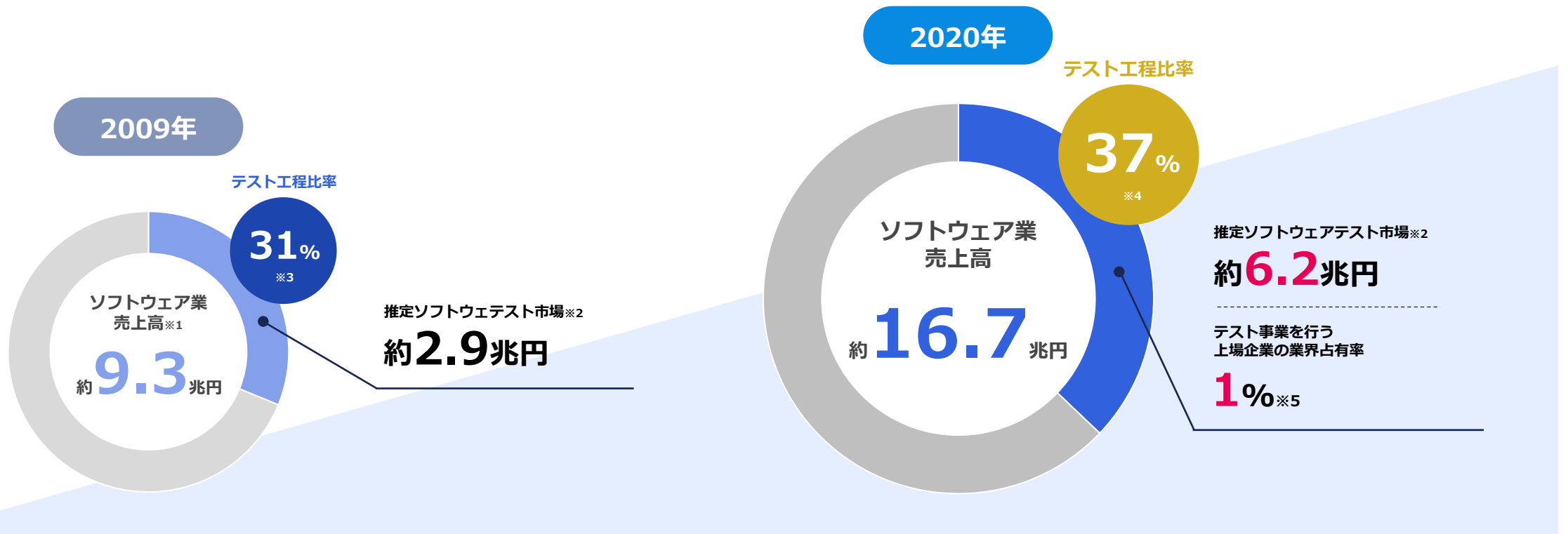


6

ソフトウェアテスト事業環境

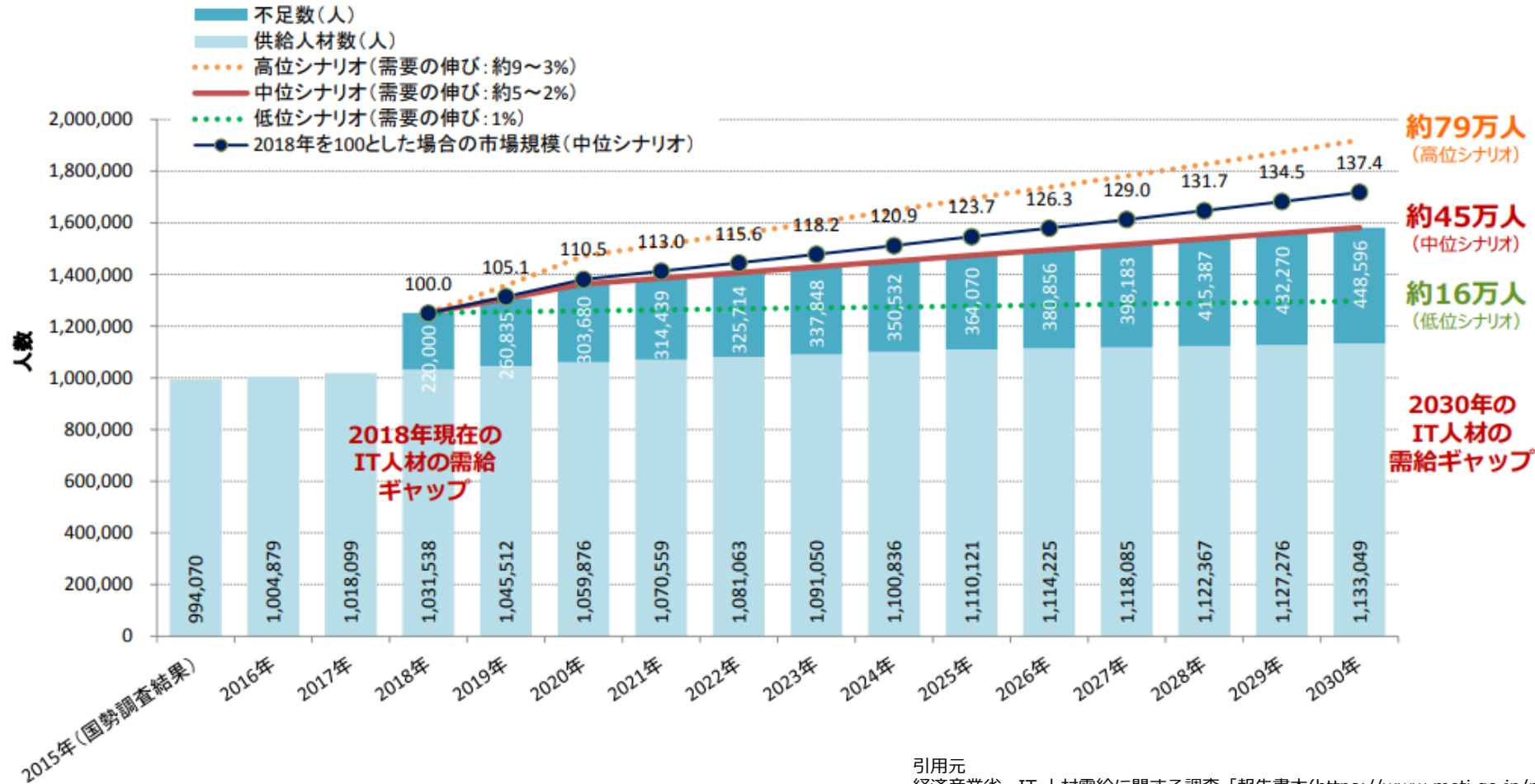
当社が推定する日本のソフトウェアテストの市場規模は約6.2兆円

■ ソフトウェア業売上高に占めるテスト工程比率の推移と市場規模推計



※1 総務省・経済産業省「情報通信業基本調査」より ※2 ソフトウェア業売上高に、テスト工程比率を乗じて算出 ※3 独立行政法人情報処理機構（IPA）「ソフトウェア開発データ白書」より
※4 独立行政法人情報処理機構（IPA）「ソフトウェア開発分析データ集2020」より ※5 テスト・デバック事業をメインとする上場企業の売上合計より

ソフトウェアテスト市場規模拡大の一方、担い手のIT人材は不足



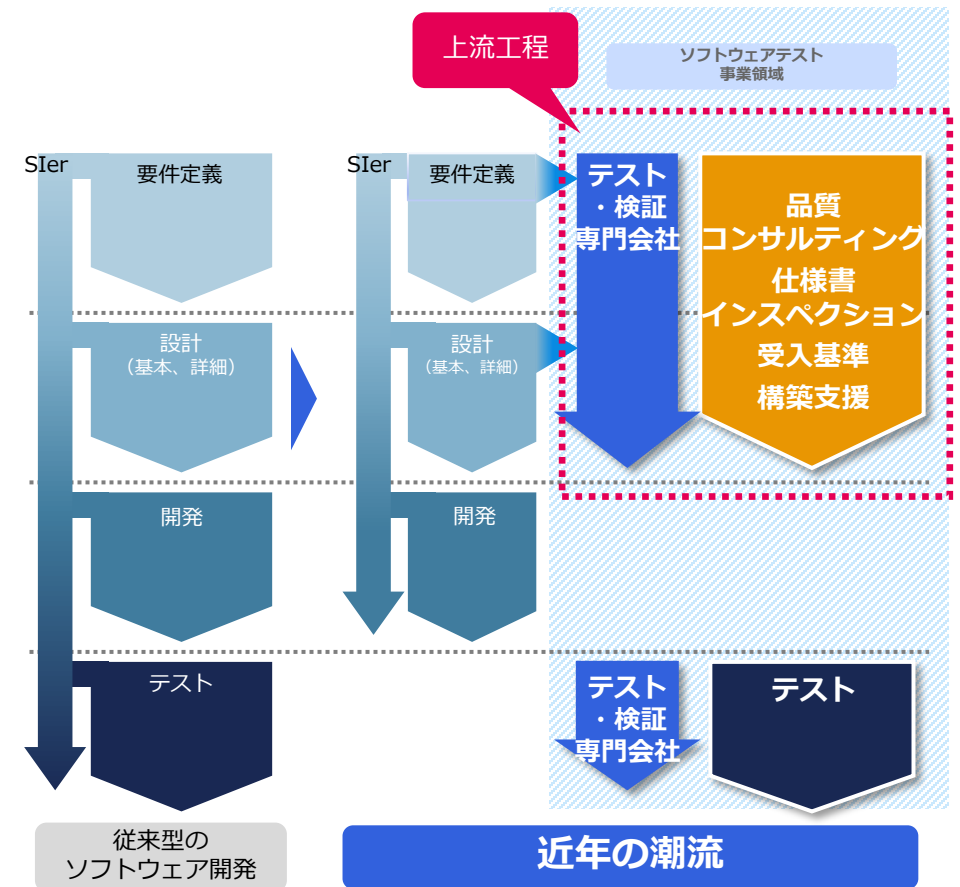
ソフトウェアテスト
専門業者への
需要は増加

引用元

経済産業省 IT人材需給に関する調査「報告書本(https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/houkokusyo.pdf)」
図 3-11 IT人材需給に関する主な試算結果①②③の対比(生産性上昇率0.7% IT需要の伸び「低位」「中位」「高位」)

ソフトウェアテストは開発企業から**テスト専門会社**へ 品質向上を目指すユーザー企業など**上流工程**からの依頼も増加

	開発企業によるテスト	テスト専門会社によるテスト
品質	<ul style="list-style-type: none"> テストは開発エンジニアのモチベーションが上がらず非効率 開発エンジニア自身のテストは客観性が無く信頼性に欠ける 	<ul style="list-style-type: none"> 再現性・共有性の高いテスト方法やメソッドを確立網羅的で高効率なテストが可能 上流工程からの参画により、ソフトウェア自体の品質が向上
コスト	<ul style="list-style-type: none"> コスト高な開発エンジニアの労働時間の約40%がテスト工程 	<ul style="list-style-type: none"> 開発エンジニアのテスト実施と比べ60%~70%程度※で対応可 ※当社調べ 上流工程からの参画により、手戻りコストを削減
構造	<ul style="list-style-type: none"> 大手SIerが一括受注し、下請けに開発を発注、その開発エンジニアがテストも実施 	<ul style="list-style-type: none"> 第三者のテスト専門会社によるテストの有効性が注目 ユーザー企業など上流工程からの依頼も増加





自社の強み

自社の強み① 高スキル テスト専門エンジニアが多数在籍 高難易度なエンタープライズ領域へのナレッジ蓄積

人的・技術的優位性

- ソフトウェアテストに関する専門教育を受けた正社員500名超
- JSTQB※1高保有率
- ISTQB※2 Global Partner 日本初認定
- 年間約7,000※3プロジェクト、1,300社以上の導入実績
- プロジェクトを通じた様々な業界におけるナレッジの蓄積
- 専門技術人材を供給可能な外部協力会社ネットワーク
- ISO/IEC/IEEE 29119※4準拠テンプレート
- QUINTEE®※5（テストの進行基準）

※1 JSTQB(Japan Software Testing Qualifications Board)とは、国内のソフトウェアテスト技術者認定組織のこと
 ※2 ISTQB(International Software Testing Qualifications Board)とは、世界130カ国のテスト技術者認定組織のこと
 ※3 ツール案件を含む
 ※4 ISO/IEC/IEEE 29119とは、ソフトウェアテストの統合的な国際規格のこと。ISO、IEC、IEEEという3つの標準化団体が合同で策定しているため、この名称で呼ばれる
 ※5 QUINTEE®とは、当社がソフトウェアテストを主軸に、品質向上・生産性向上に関連する知見を体系化したもの

エンタープライズ領域へのナレッジ蓄積

- 潜在市場が大きい、高度な技術を要するエンタープライズ領域拡大のため専門部署を設置
- エンタープライズ領域における専門ナレッジの蓄積

エンタープライズ領域の特長

- 単価：高 案件規模：大 契約期間：長
- 開発、業務知識等、テスト以外の知識を求められる
→ 難易度：高 参入障壁：高
- マイグレーション等※6の増加で市場：拡大 潜在市場：巨大

	当社の事業領域	潜在市場規模	市場ステージ	参入障壁
テスト 工程 市場	エンタープライズ	巨大	黎明期	高
	組込み	大	黎明期	高
	Web・スマホ	中	成長期	中
	エンターテインメント	小	成熟期	低

※6 ソフトウェアやハードウェア、システム、データ、開発言語などを別のプラットフォームに移行したり、新しいシステムに切り替えたりすること

専門性の向上によって強固な参入障壁を構築し、価格競争を回避

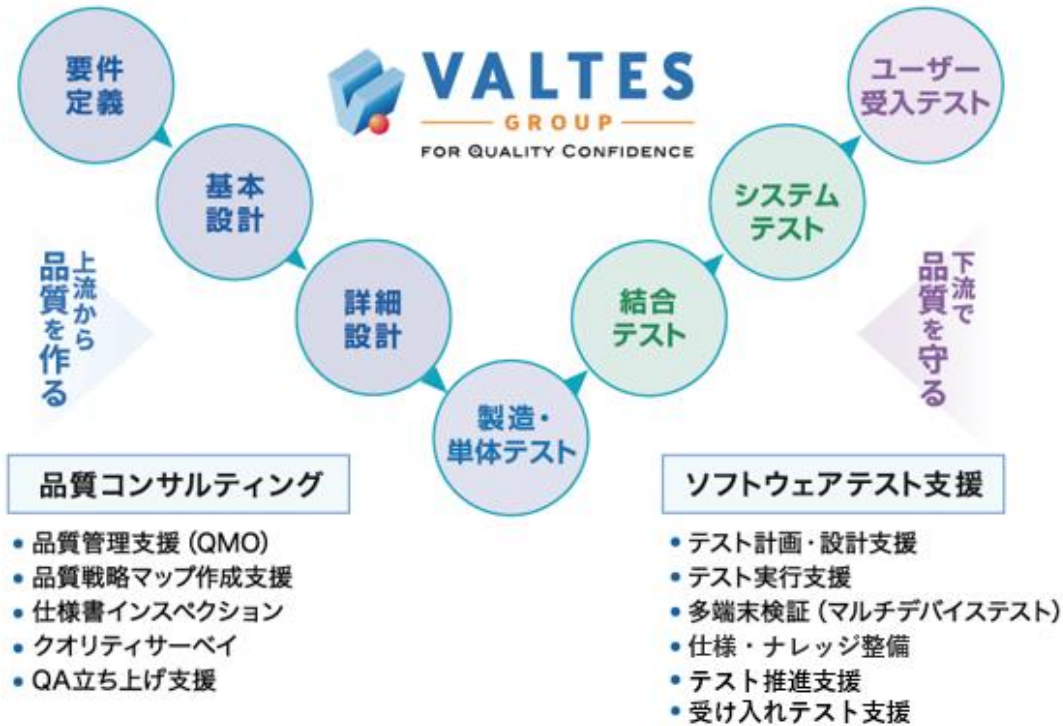
自社の強み② バルゼミを始めとした人材育成コンテンツ 人材早期育成メソッドの充実

バルゼミを始めとした育成コンテンツ・メソッドの充実で**早期人材育成が可能**



自社の強み③ 要件定義、基本設計等の上流工程からソフトウェア品質向上支援サービスを提供可能

ソフトウェア開発の全工程で、ソフトウェア品質向上支援サービスを提供



品質教育

バルカレ
一歩先ゆく品質のプロを育てる

バルカレ 企業向け講座

バルカレ オープン講座

バルカレ eラーニング

テストツール

ドキュメント品質を高める新AI
QuintSpect

自動化されるAIテスト設計
TestScape

いつでも、どこでも
QualityTracker

PerfecTwin

簡単にできるテスト自動化
T-DASH

いつでも、どこでも
AnyTest

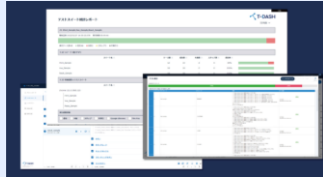
総合的ソリューション提供で
顧客IT部署の**負担軽減**と
工数削減による
コストメリットの提供が可能

マイグレーションテスト支援	DX支援	非機能要求	セキュリティ
アジャイル開発テスト支援	<ul style="list-style-type: none"> AIプロダクト品質向上支援 ローコード品質向上支援 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザビリティテスト (UI/UX・アクセシビリティ) Webアクセシビリティ検証 パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> 脆弱性診断 クラウド診断 ペネトレーションテスト クラウド型WAF (PrimeWAF)
テスト自動化導入・定着支援			

自社の強み④ ソフトウェアテストサービスの実績に基づいた テスト・品質向上支援ツールを自社開発

ソフトウェアテストを効率化し、**高品質とリリースのスピードアップ**を実現

■ テスト自動化ツール



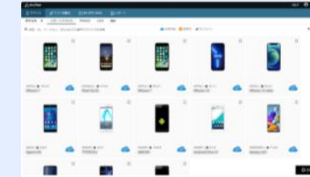
日本語で作成したテストケースで
自動テストを実現したテスト自動化ツール

■ テスト管理ツール



テスト実施に特化した管理ツールEVMによる管理で、
品質向上の見える化を可能に

■ クラウド型モバイルテストサービス



ブラウザ上でスマートフォンの実機を操作。実端末の
購入・保管・移動などの手間を軽減

■ AIテスト設計ツール



弊社独自のAIが仕様書からテストケースを自動生成。
テスト設計書などの中間生成物も自動的に作成

■ ドキュメント解析AIツール



要件定義書などのドキュメントを弊社独自のインスペク
ション観点で分析。AIが問題点や改善点をレポート

顧客・業界に
**品質向上及び
開発短期化メリット
を提供**

Coming soon . . .

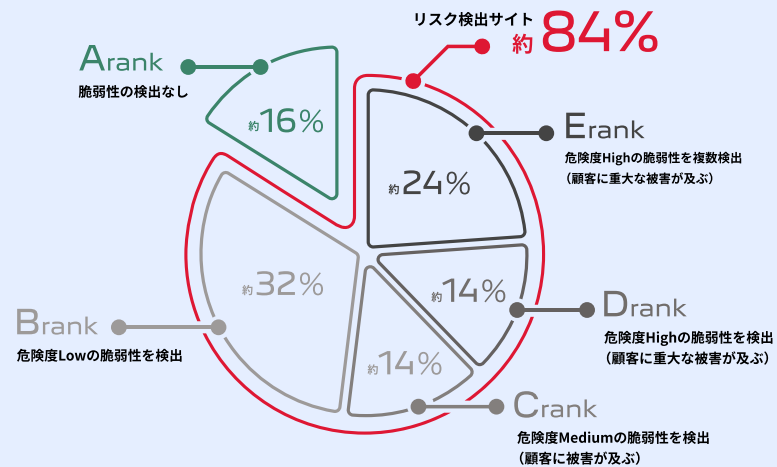


テスト・品質向上支援ツールの詳細については、当社ホームページ サービスサイトをご覧ください。

<https://service.valtes.co.jp/s-test/tool/>

脆弱性診断を始めとしたセキュリティサービスの拡充

脆弱性診断



※2020年1月～2020年12月までに当社がセキュリティ診断を実施したサイトの一部から抜粋

診断結果の約84%のサイトで危険なリスクが検出されています！
1,000件以上の実績により、
ツールでは見つからない脆弱性※も多数検出

※ なりすましが出来てしまうアクセス制限に関する脆弱性

セキュリティサービス



ペネトレーションテスト (侵入テスト) サービス

セキュリティ対策の専門家が、実際に攻撃者と同じ視点・手法でシステムに侵入を試み、リスクや脆弱性を評価



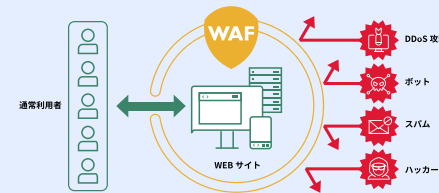
クラウド診断サービス

クラウドプラットフォームやシステムの利用状況におけるセキュリティ上の問題を診断



セキュアプログラミングのソフトウェア品質セミナー

安全なWebサイト構築のためのセミナーを実施



WAF PrimeWAF

Webアプリケーションの脆弱性を悪用した攻撃からサイトを保護するセキュリティ対策サービス。セキュリティ診断・脆弱性診断に実績があるバルテスが提供する新たなクラウド型WAFサービスPrimeWAFを展開。

当社が主力とする品質向上サービスと併せてセキュリティに関するトータルな提案が可能



セキュリティサービスの詳細については、当社ホームページ サービスサイトをご覧ください。 <https://security.valtes.co.jp/>

ソフトウェアテスト専門事業者としての豊富な実績を活かした生成AIテスト設計ツール「TestScape」

蓄積された実績とテスト基準

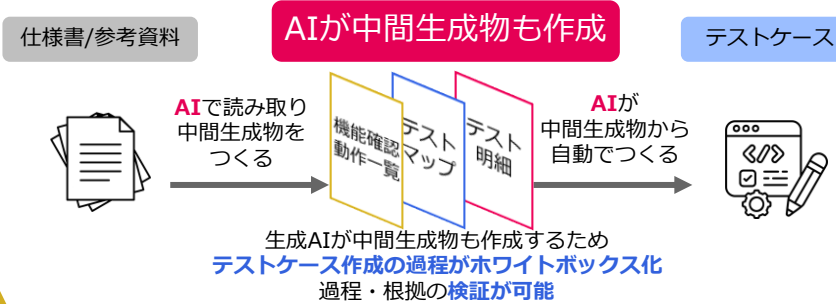
- 直近年間約7,000※1プロジェクト、1,300社以上の導入実績
- ソフトウェアテスト専門事業者として20年を超える業歴・膨大なテスト実績
- プロジェクトを通じた様々な業界におけるナレッジの蓄積
- ISO/IEC/IEEE 29119※2準拠テンプレート
- 当社がソフトウェアテストを主軸に、品質向上・生産性向上に関連する知見を体系化したテスト進行基準「QUINTEE®※3」

※1 ツール案件を含む
※2 ISO/IEC/IEEE 29119とは、ソフトウェアテストの統合的な国際規格のこと。ISO、IEC、IEEEという3つの標準化団体が合同で策定しているため、この名称で呼ばれる
※3 QUINTEE®とは、当社がソフトウェアテストを主軸に、品質向上・生産性向上に関連する知見を体系化したもの

当年3月
生成AIテスト
設計ツール
「TestScape」
プロトタイプ版
を自社実装

中間生成物の作成で生成AIの透明性確保

バルテスの生成AI 過程や根拠が説明できる！



他の生成AI 過程や根拠が不明



他の生成AIの場合、テストケースのみ出力する仕様のものも多く、裏付ける中間生成物が存在しないブラックボックス

高精度・透明性の
高い生成AIテスト
ツールの開発で
競争優位

ツールの利用で
生産性向上

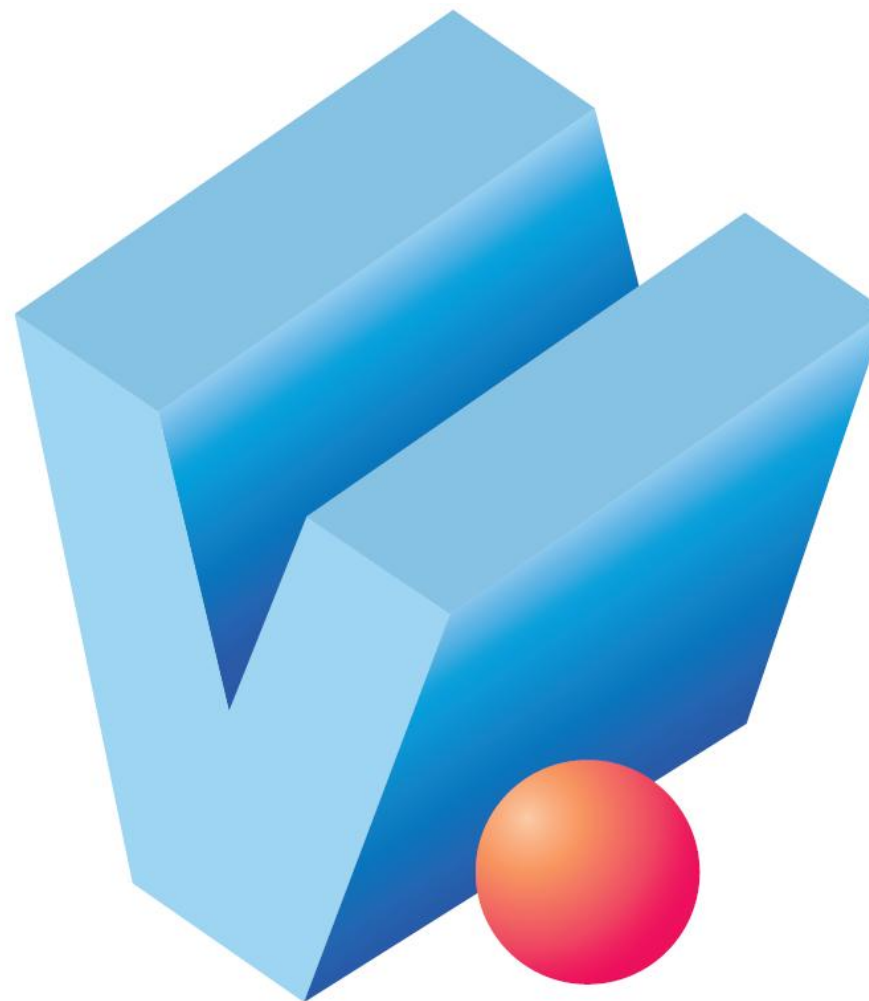
8

会社概要

FOR QUALITY CONFIDENCE

品質向上のトータルサポート企業

バルテスグループは、品質向上のトータルサポート企業として、ソフトウェアテストをはじめ、さまざまなサービスを提供しています。世の中のあらゆるものに組み込まれるソフトウェアの品質を守り、向上させることで、安心・安全な世界の実現に貢献します。



「品質向上のトータルサポート企業」経営方針に掲げ、事業を展開

会社名	バルテス・ホールディングス株式会社
会社設立	2004年4月 ※2023年10月持株会社体制移行により社名変更
上場	2019年5月 東証マザーズ (現 東証グロース 証券コード: 4442)
本社住所	大阪市西区阿波座1-3-15 (大阪本社)
事業内容	ソフトウェアテストサービス 品質コンサルティングサービス ソフトウェア品質教育サービス セキュリティ・脆弱性診断サービス
グループ会社	バルテス株式会社 バルテス・イノベーションズ株式会社 株式会社アール・エス・アール 株式会社ミント 株式会社シンフォー VALTES Advanced Technology, Inc. (Philippines) タブュラ株式会社
従業員数	978名 (2026年3月末時点 グループ8社計)
内、総エンジニア数	839名 (2026年3月末時点 グループ8社計)
総資産	6,725百万円 (2026年3月末時点 グループ8社連結)

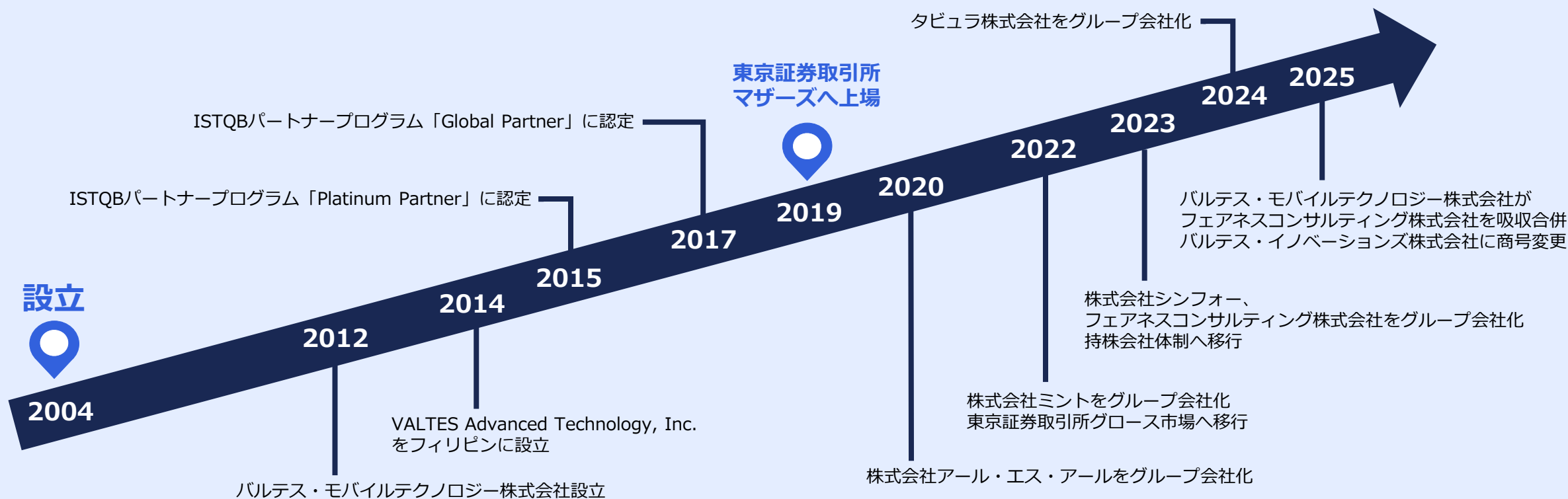


代表取締役会長兼社長

田中 真史
Tanaka Shinji

2004年4月、設立。ソフトウェア品質に関わるサービスを提供。

ソフトウェアテスト専門会社として、年間7,000件※以上のプロジェクト実績



※ ツール案件を含む

持株会社（当社）



グループ経営管理機能／教育関連機能

事業グループ会社



事業推進・執行機能

サステナビリティ委員会の設置

サステナビリティに係る取組みや、環境・人権方針の策定、当社グループへの浸透と進捗状況のモニタリングを実施



社外取締役の積極登用

高度な専門性を持つ社外取締役の登用で、当社グループの成長加速とガバナンスの強化へ



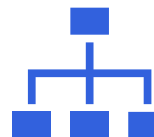
取締役7名中、
過半数の5名が社外取締役

監査等委員会設置会社への移行



取締役の職務執行の監査等を担う監査等委員を取締役会の構成員とし、取締役会の監督機能を強化

持株会社体制への移行 執行役員制度の導入



持株会社及び各事業会社の権限と責任を
明確化及び管理機能の集中化、
迅速な意思決定と適切なモニタリングの両立と、
経営重要事項の決定・監督を担う取締役会と執行責任を負う
執行役員との役割分担明確化及び機能強化を目指す

Create Wellness

人と社会に品質を

当社グループでは、「人と社会に品質を」を合言葉に、豊かな知見から生まれた教育プログラムと安心・安全を支えるサービスの提供を軸としたサステナビリティ活動を推進しています。

次の時代を担う人材（Employee）を育成することで、環境（Environment）と社会（Society）への取り組みを加速し、コーポレート・ガバナンス（Governance）体制を強化していく「E+ESG経営」を実践しています。



取り組みの詳細については、当社ホームページ サステナビリティサイトをご覧ください。

<https://www.valtes-hd.co.jp/sustainability/>

バルテスグループ×SDGs



ご留意事項

本資料には、当社グループの現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

これらの将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに
当社が計画・予想したものであります。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素により、

この計画・予想などとは異なる場合があります、

この資料は その実現を確約したり、保証するものではありません。

なお、この資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。





VALTES

— **GROUP** —

FOR QUALITY CONFIDENCE